

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 12 月 1 日

事業所名 通所支援事業所はなうた(対象者13名 回答13名)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12	1	療育スペースは広間や学習室、和室等備えており、定員に対しての広さは確保されています。	おむつ交換時の目隠しやスペース確保が難しい時がたまにあります。
	2	職員の配置数は適切である	13	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11	2	全てバリアフリーではありませんが、危険箇所は個別で介助をしています。	建物の構造上、段差の解消が難しいところがあります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	13	0	毎日のミーティング、毎月1回の全体会議とケース会議を開催しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13	0	ご意見箱の設置もしております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	0	ホームページにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1		今後、第三者による外部評価を探っていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13	0	マナーから支援内容に関する事項など、職員の要望により行う研修も定期的にあります。また、参加した職員による報告等で情報共有をしています。	OJTの研修内容と法人内部の研修をさらに深めていきたいです。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	13	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	12	1	利用者様に合ったものを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	13	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	0	個々の発達に合わせてられるよう、定期的な会議や打ち合わせ等で意見交換をし内容を決めています。	それぞれの課題に合わせてアレンジしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	13	0	支援の状況や利用時間に応じて活動内容に変化を持たせ、目的を持って行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	12	1	どちらの活動も取り入れるようにしています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	0	必ず朝礼(昼礼)をして確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	0	長期休暇時はその日の終礼、平日は翌日の昼礼で必ず振り返りを行っています。	平日の支援終了後の振り返りが難しいですが、必ず翌日の朝礼、昼礼で共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	0	日誌やケース記録を残し、情報共有を行っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	13	0	ケース会議等で行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	1			

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	0	児発管、主任、副主任、担当者が参加しています。	個々のモニタリングに参加することで、より深く個々に関わる意識が生じてきています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	13	0	保護者を通じて情報の共有を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3	保護者を通じて行っています。	主治医との連絡について周知する必要があります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	11	0	担当者会議等があり、移行支援シートを作成しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	12	0	担当者会議等があり、移行支援シートを作成しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	7		コロナ禍ともいえる状況で今の段階では難しいと思われます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	10	1		会議への参加は行っていますが、コロナ禍ということもありオンラインでの参加をしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13	0	連絡帳により情報のやりとりを行っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	2	個別面談やPT(機能訓練)の機会に参加していただいています。	家庭療育への般化を行うことができています。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13	0	職員間で共有し、状況に応じて対策、対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8		コロナ禍の影響もあり実施できませんでした。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	13	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13	0	写真を多く使用し、わかりやすく楽しく伝えるように工夫しています。SNSを活用した情報発信もしています。	
	35	個人情報に十分注意している	13	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	5		招待等は行っていないが、地域行事への参加や地域周辺のクリーン作戦を実施しています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	12	0		定期的に研修を行い、より周知を図っていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	0	スタッフのみと利用者を含めてのどちらとも避難訓練を行っています。	はなうた・ハレノヒ合同の実施やスタッフが少ない場合の訓練も検討したいです。多様な災害に向けての訓練も実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13	0		定期的に研修を行い、より周知を図っていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	13	0	重要事項説明書にて説明しています。身体拘束承諾書を作成し、個人計画にも記載をしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	アレルギーについては保護者に事前確認をし、職員全員で周知徹底をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	0	職員間で共有し、再発防止に努めています。	